

布薩

礼拝

南無釈迦牟尼仏（なむしゃかむにぶつ）

南無観世音菩薩（なむかんぜおんぼさつ）

南無三世三千諸仏（なむさんぜさんぜんしょぶつ）

懺悔文

我 昔より造るところの諸々のあやまちは

（唱和）皆、はてしなき むさぼり いかり おろかさによる

身（からだ）と口とこころより生ずるところのもの

すべて 我 今みな懺悔したてまつる

三歸依文

自ら佛に歸依したてまつる

（唱和）当（まさ）に願わくは、衆生（しゅじょう）とともに

大道を体解（たいげ）して、無上心を発（おこ）さん。

自ら法に歸依したてまつる

（唱和）当に願わくは、衆生とともに

深く經藏（きょうぞう）に入りて、智慧海の如くならん。

自ら僧に歸依したてまつる

（唱和）当に願わくは、衆生とともに

大衆を統理して、一切無礙ならん。

三聚淨戒

第一攝律儀戒（しょうりつぎかい）

（唱和）み教えにしたがい 過ちのない行いに生き

第二攝善法戒（しょうぜんぽうかい）

（唱和）み教えにしたがい 善き行いにつとめ

第三攝衆生戒（しょうしゅじょうかい）

（唱和）みほとけの作すが如く、いのちと人の世に誠を尽さん

十善戒

第一不殺生（ふせつしょう）

（唱和）すべてのものを慈しみ、はぐくみ育て

第二不偷盜（ふちゅうとう）

（唱和）人のものを奪わず、壊さず

第三不邪淫（ふじゃいん）

（唱和）すべての尊さを侵さず、男女の道を乱すことなく

第四不妄語（ふもうご）

（唱和）偽りを語らず、才知や徳を騙（たばか）ることなく

第五不綺語（ふきご）

（唱和）誠無く言葉を飾り立てて、人に諂（へつら）い迷わさず

第六不惡口（ふあくく）

（唱和）人を見下し、驕（おご）りて惡口や陰口を言うことなく

第七不兩舌（ふりょうぜつ）

（唱和）筋の通らぬことを言って親しき仲を乱さず

第八不慳貪（ふけんどん）

（唱和）仏のみこころを忘れ、貪りの心にふけらず

第九不瞋恚（ふしんに）

（唱和）不都合なるをよく耐え忍び怒りを露わにせず

第十不邪見（ふじゃけん）

（唱和）すべては変化する理を知り心を正しく調えん

誓いの言葉

私達は、仏陀釈尊の慈悲のこころを学び、慈悲のこころを実践するために修行いたします。仏陀釈尊の弟子として、如何なる理由があろうとも、決して人に暴力、暴言を与えることをいたしません。一人一人の仏心仏性を拝みあい、ここに仏陀釈尊の弟子として恥じることのない、敬愛和合の道場を築くことを誓います。